

ハマベツチカメムシ

カメムシ目ツチカメムシ科

Byrsinus varians (Fabricius)

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

本種の生息場所である海浜植物帯は、各種開発により縮小傾向にある。さらに近年は、海浜植物帯へのRV車やモトクロスバイクの直接的な乗り入れが頻繁に行われるようになっており、これらの複合的な要因が生息場所の縮小や消失、本種の生息数の減少に繋がることが懸念されている。

形態

体長4mm内外。体表には光沢があり、体色は赤褐色。頭部前縁には10数本の刺毛と長毛が混生し、体側に沿って長毛が列生している。触角は短く、第2節が最も短い。第3～5節は長卵形である。同所的にマルツチカメムシが分布するため、同定には注意が必要である。

国内分布

本州、四国、九州に分布する。

県内分布

2008年5月に羽咋市一の宮海岸で1個体が採集されたのみである。

生態

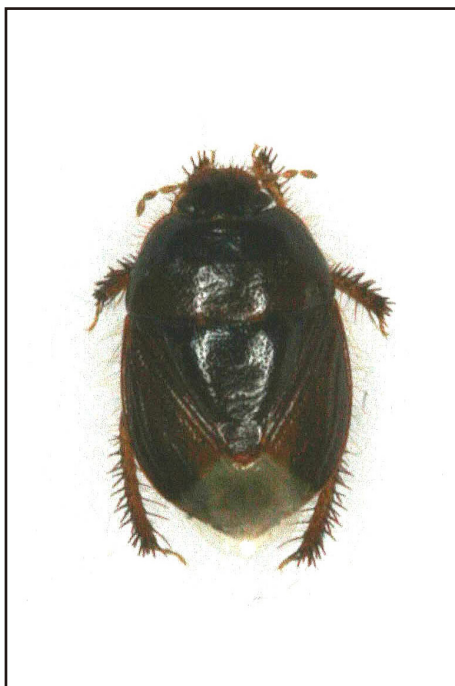
海浜植物の根際の土中で生活している。

生息地の条件

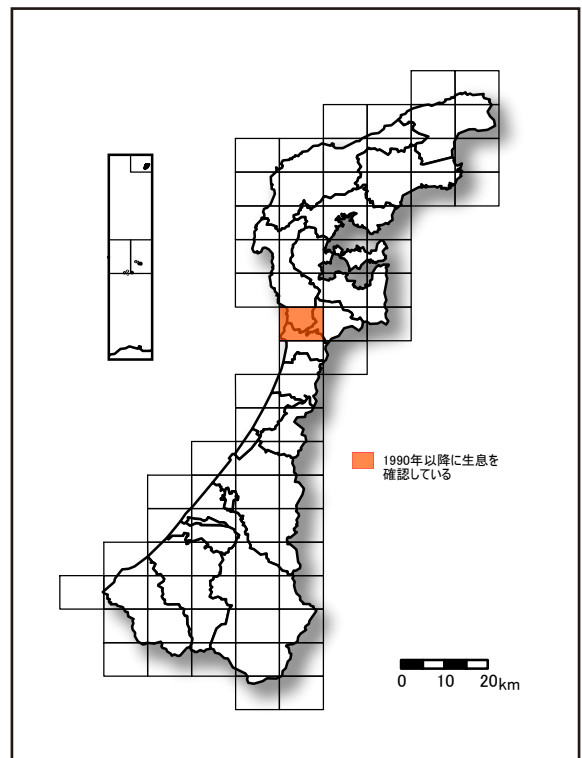
比較的大きな海浜植物帯があること。

生存の危機

開発行為や各種レジャーによって生息場所である海浜植物帯が縮小、消失することは、本種を含めた様々な生物にとって生存の危機である。本種を確認した羽咋市一の宮海岸では、2007年にRV車の運転技術を競う大会が開催されたが、海浜植物帯をコースに含んでいたため、コース上の海浜植物はRV車に踏みつぶされて完全に消滅していた。このような大会を開催する場合、開催場所やコースの選定には慎重の上にも慎重を期すべきである。



標本提供者: 吉道俊一



県内の分布